

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第 95 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 95 回 : 2019 年 8 月 1 日 (木) 13:30~17:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 734 会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 橋本幹事, 石田, 岩谷, 谷川, 池田 (芳), 佐藤 (輝), 黒岩,  
塩田 (谷口代理), 小森 (10 名)

(常時参加者) 友澤, 藤崎, 根岸, 不破, 佐藤 (遼) (5 名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-95-1 第 94 回 L1PRA 分科会議事録 (案)

P4SC-95-2 人事について

P4SC-95-3 L1PRA 標準統合性能化案コメント対応

P4SC-95-4-1 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 基準案

P4SC-95-4-2 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 指針案

P4SC-95-4-3 内の事象 L1PRA 標準 統合性能化 適用事例候補

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 10 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 94 回議事録の確認

資料 P4SC-95-1 を用いて第 94 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければこのまま正式版とすることとなった。

(3) 人事について

資料 P4SC-95-2 により, 喜多委員 (東京電力 HD から電力中央研究所に所属変更) 及び谷口委員 (日立 GE) の退任と塩田常時参加者 (日立 GE) の解除が報告された。また, 新たな委員として二木候補 (東京電力 HD) 及び塩田候補 (日立 GE) の選任が承認された。

#### (4) L1PRA 標準統合性能化 中間報告コメント対応について

資料 P4SC-95-3 及び P4SC-95-4-1 から 4-3 により, L1PRA 標準統合性能化案の中間報告におけるリスク専門部会・標準委員会からのコメント対応について検討した。主な議論は次のとおり。

- ・学会としては What to do を規定する「基準」がどうあるべきかに注力して検討するべきではないか。エンドース等も視野に入れば, 規制側とも十分議論していく必要がある。「基準」に関しては, むしろ規制側の意向が主体となるのではないか。
- ・How to do に対応する「指針」は, 産業界でも PRA ガイド類の検討が進められており, むしろこのようなガイド類を主体にしていくことも考えられる。
- ・エンドースを考えた場合, 「基準」が主となるか「基準」「指針」のセットとなるか, あり方についても議論を進める必要がある。
- ・ASME/ANS 標準のような要求のカテゴリ分けを導入していく場合は, PRA 品質確保標準においてカテゴリの定義を明確化していく必要があるのではないか。一方, あまりに狭義な定義にすると目的別に多数の定義が必要になる可能性もあり, 慎重な検討が必要。規制の方向性とも相まって, カテゴリ分けにどのようなニーズがあるかも情報収集していくべきである。
- ・「基準」では, リスク情報活用に必要な PRA の要件を規定し, What to do を明確にすること, ASME/ANS 標準の規定要求に対応するものであること。「指針」では, 基準の要件に対応する手順・手法を規定し, How to do と How to do における留意事項を含み, ASME/ANS 標準の Note / Example に相当する内容を含むこと。これらを専門部会向け資料にも明確にしておく。「基準」と「指針」の構成の枠組みは同一とするが, 細目においては必要となる事項が異なることも考えられ, 個々に対応していく。
- ・「基準」「指針」の役割分担において, 規定振りのあり方を継続して検討していく。ご意見等は随時受け付ける。例えば次のような事項が考えられる。
  - －「最確推定」の意味するところの展開
  - －評価手法の展開 (停止時での熱バランスによる崩壊熱評価・機器の作動条件の評価)
  - －共通原因故障範囲の展開

#### (5) スケジュール, その他

JIWG から米国 PRA 標準に関して JCNRM への質問等の募集があり, 使命時間等の規定に関する考え方などを応募することとなった。

次回分科会は 8 月 28 日 PM, 次々回は 10 月 4 日 PM の予定とする。

以上